

奈良女子大学
古代学学術研究センター

第4回月例研究会

日時：2010年10月6日（水）16：30～

場所：理学部会議室（A棟1階）

内容：空間分析の近年の展開と考古学への
応用可能性について

石崎 研二（文学部 准教授）

近年、地理学をはじめとする空間分析の展開には、大きな変革がみられる。それは、グローバル・モデルからローカル・モデルへ、あるいは確証的分析から探索的分析へ、といった「地域」や「場所」の固有性や多様性を強調するアプローチであり、こうした変革がもたらされた一因として、地理情報システム(GIS)の普及があげられる。本発表では、GIS技術と空間分析における近年の展開をふまえた上で、Hodder and Orton (1976)以降の考古学への応用可能性について話題提供したい。

ご自由にご参加下さい